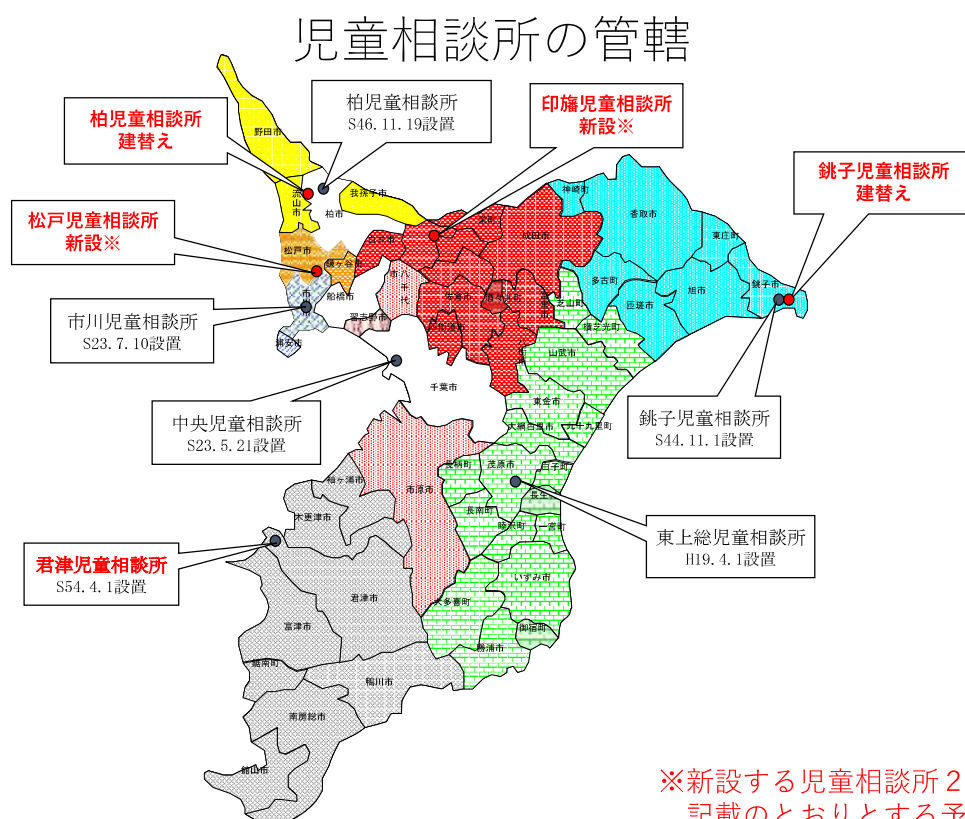


児童相談所の新設・建替えについて



児童相談所整備の効果

新設・建替の効果

- ・児童福祉司、児童心理司等の増員による執務室の狭隘化の解消
- ・業務の効率化
 - 不足する面接室の拡充
 - 研修等を行う会議室の拡充
- ・一時保護定員超過状況の改善
- ・一時保護児童の生活環境の改善
 - 小学生以上の居室を個室化
 - 学齢期に応じた3つの学習室の設置
 - 男女別リビングの設置
 - 屋内外の運動場の設置

新設の効果

- ・適切な組織マネジメント
- ・移動時間の短縮
 - 安全確認などの迅速な対応
 - 業務の効率化
- ・市町村、学校等の関係機関との連携強化

印旛児童相談所【新設】

【建物概要】

鉄筋コンクリート造 2階建て
 延床面積 約4,850㎡
 一時保護所定員34名

【管轄の見直し】

- ・中央児童相談所を分割し、印旛児童相談所を新たに設置

【建設地】

印西市牧の原6-2-3
 北総線印西牧の原駅から約700m
 令和5年12月に県企業局から購入

【進捗状況・予定】

- ・建設工事 竣工（R7.12月末）

【開設予定】

令和8年度4月頃

中央

136万人



| | |
|----|------|
| 印旛 | 72万人 |
| 中央 | 64万人 |

写真



印旛児童相談所 位置図

【建設地（広域）】



印旛児童相談所

【施設の様子】



松戸児童相談所【新設】

【建物概要】

鉄筋コンクリート造 2階建て
延床面積 約5,000㎡
一時保護所定員34名

【管轄の見直し】

・ 柏児童相談所及び市川児童相談所の管轄を見直し、松戸児童相談所を新たに設置（船橋市、柏市が独自に児童相談所を設置）

【建設地】

松戸市高塚新田9-2-18外
JR東松戸駅から約1.5km
松戸市から借地

| | |
|----|-------|
| 市川 | 143万人 |
| 柏 | 143万人 |



| | |
|----|------|
| 松戸 | 61万人 |
| 市川 | 67万人 |
| 柏 | 50万人 |

完成予想図



【進捗状況・予定】

・ 建設工事中
（工事契約：令和8年5月まで）

【開設予定】

令和8年秋頃

松戸児童相談所 位置図

【建設地（広域）】



松戸児童相談所

【現況写真】



柏児童相談所【建替え】

【建物概要】

鉄筋コンクリート造 2階建て
延床面積 約5,000㎡
一時保護所定員34名

【建設地】

柏市柏の葉4-3-4（さわやかちば県民プラザ敷地内）
JR柏駅から約6km、柏の葉キャンパス駅から約2.5km
令和6年3月に県教育庁から所管換え

【進捗状況・予定】

・建設工事に着手
（工事契約：令和9年3月まで）

【開設予定】

令和9年度中

【移転・建替えの理由】

・施設の老朽化・狭隘化が進み、敷地面積が不足しているため

【現状の柏児童相談所】

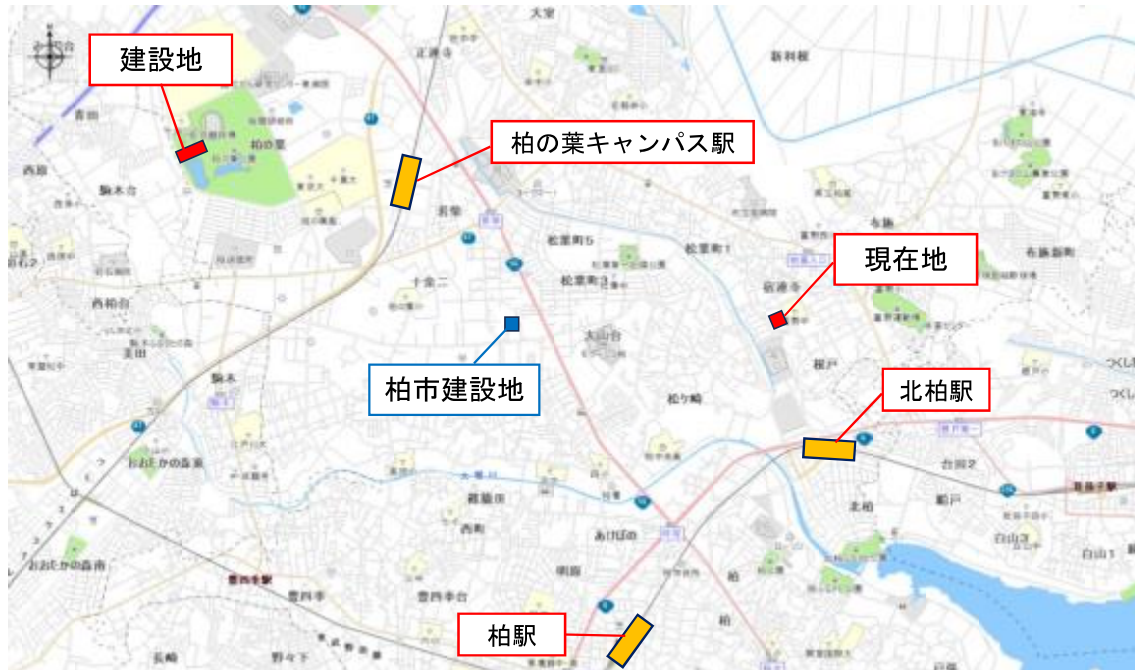
延床面積 約1,519㎡
一時保護所定員31名
昭和49年建築

完成予想図



柏児童相談所 位置図

【建設地（広域）】



柏児童相談所

【現況写真】

基礎杭打設（R7.11月時点）



土工（R7.11月時点）



基礎の施工状況（R7.12時点）



銚子児童相談所【建替え】

【建物概要】

鉄筋コンクリート造 2階建て
延床面積 約3,700㎡
一時保護所定員27名

【建設地】

銚子市南小川町701-1外
JR銚子駅から約1.6km
令和6年3月に銚子市から購入

【進捗状況・予定】

・建設工事に着手
(工事契約：令和9年3月まで)

【開設予定】

令和9年度中

【移転・建替えの理由】

・施設の老朽化・狭隘化が進み、敷地面積が不足しているため

【現状の銚子児童相談所】

延床面積 約1,470㎡
一時保護所定員15名
昭和48年建築

完成予想図



銚子児童相談所 位置図

【建設地（広域）】



銚子児童相談所

【現況写真】

整地後（R7.10月時点）



基礎杭打設（R7.12月時点）



人材確保・育成の取組について

1 概要

令和5年11月に策定した「千葉県児童福祉専門職員 人材育成基本方針」に基づき、専門性や幅広い柔軟な視野を有する職員を目指し、計画的に人材育成を進めています。

また、児童福祉司等の人材確保のため、職場見学バスツアーの実施や採用動画の作成を進めており、採用広報活動の充実を図っています。

2 令和7年度の取組

○児童相談所職員確保・広報業務委託

- ・採用パンフレット、保育士リーフレットの作成（新規）
- ・採用ホームページの刷新（新規）
- ・オンライン業務説明会、職場見学バスツアーの実施
- ・動画等を用いて SNS を活用した情報発信
- ・広報グッズの作成

○職員定着に向けた取組

- ・児童福祉専門職員のためのお悩み相談室（新規）
- ・ブラザー・シスター制度

○研修事業の充実

- ・各職場研修
- ・人材育成推進員会研修
（新任者研修・現任階層別研修・マネジメント研修・スキルアップ研修等）
- ・外部派遣研修
- ・法定研修

○人事交流

- ・県と市町村間での職員交流
- ・教育庁との職員交流

概要

担当 課：健康福祉部児童家庭課・子育て支援課
問い合わせ先：043-223-2357

困難な事情を抱えた子育て世帯等への支援等について、市町村による事業導入及び拡大を促進するため、県独自の補助を行います。養育環境が深刻な状況になる前に、こどもが育つ家庭環境・養育環境に係る支援を行い、児童虐待の未然防止を図るとともに、虐待等により児童相談所が関与した後も市町村の支援を前提とした家庭復帰を進めます。

独自補助の内容

補助方法： 現行の補助金（千葉県子ども・子育て支援補助金）

における県補助率 1/3 から引き上げ

→ 補助率： 国 1/3、県 1/2、市町村 1/6

※市町村負担 1/3 の半分以上を県が独自補助

補助金額： 1 億円

補助期間： 令和 7 年度～令和 9 年度（3 年間の時限措置）

補助対象事業



| 子育て世帯訪問支援事業 | 児童育成支援拠点事業 | 親子関係形成支援事業 | 子育て短期支援事業 |
|--|--|--|--|
| 家事・育児等に対して不安を抱えた子育て家庭等を訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・育児等の支援を行う事業 | 虐待や不登校などにより、家や学校に居場所のない学齢期以降のこどもに居場所の提供や相談等を行う事業 | こどもとの関わり方に悩みや不安を抱える子育て家庭に対して、こどもとの関わり方を学ぶためのペアレント・トレーニング等を行う事業 | 保護者の疾病や育児疲れ等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等や里親等への委託により、レスパイトケア等、必要な支援を行う事業 |

中核市における児童相談所の設置について

令和 8 年 1 月 1 5 日
千葉県健康福祉部児童家庭課

1 船橋市、柏市児相の基本情報

| | 船橋市 | 柏市 |
|------------|--------------------------|---|
| 組織体制 | ・ 児童相談所機能 ・ 家庭児童相談室機能 | ・ 児童相談所 ・ 家庭児童相談、母子保健、 教育分野、発達支援の一部機能 |
| 建設地 | 船橋市若松二丁目 1 番 16 | 柏市十余二 313-92（市青少年センター内） |
| アクセス | JR 南船橋駅南口から徒歩 5 分 | JR 柏駅西口からバスで約 10 分、『庚塚（かのえづか）』バス停下車、徒歩 3 分 |
| 一時保護 定員 | 32 名 | 25 名 |
| 開設時期 | 令和 8 年度 7 月 1 日 | 令和 8 年度中 |

2 船橋市・柏市に対する支援（主なもの）

（１）円滑な事務引き継ぎ

- ・ 令和 6 年度からは、両市との会議をほぼ毎月実施するなど、連携を密にしながら、児童相談所業務（担当ケース、里親業務等）や、児童相談所本庁業務（措置費支払い等）などの業務が着実に引き継がれるよう協議を進めている。
- ・ 順次、事務の引継ぎも実施している。

（２）県職員の市児相への派遣の検討

（３）県児童相談所での市研修生の受入れ

- ・ 市川児相船橋市所、柏児相柏末広支所にて市研修生を受け入れている。
（R7. 4. 1 時点の延べ人員で、船橋市 68 人、柏市 74 人）

（４）県事業との連携

- ・ 「警察との情報連携システム」や「児童虐待防止 SNS 相談」等、県が実施している事業への参画を呼び掛け、協議を行っている。